

科目名 Subject	英語演習 English Practice		教員名	英語教員	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	1
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	1) 美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力		2) 表現力、すなわち芸術における実践力		
	—		◎		
科目の概要	この授業では学生は様々なジャンルの芸術、芸術史、創作、展覧会などについて英語で会話をします。また学生は自分が見に行った展覧会についてのプレゼンテーションを行います。				
授業の目標	この授業の目標は学生が美術や芸術に関する話題について外国人に説明できるようになることです。				
時間外学習 (予習・復習)	最終的には、プレゼンテーションを行います。 各回の内容について把握していなければプレゼンテーションは行うことはできません。 よって、各回ごと作品などの背景などについて必ず復習を行ってください。その為に美術館や図書館などへ通うことを前提とします。この復習は90分程度を見込みますが、90分以上の時間を要すること も考えられます。時間を上手に使用して効率的に行ってください。				
教科書・教材	教科書	なし			
	教材				
	使用設備・備品	適宜			
	参考文献	適宜			
評価方法	授業内課題：50%、中間試験：15%、期末試験：15%、プレゼンテーション：20%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	プレゼンテーションの為に事前に自分の興味ある展覧会鑑賞をしておくこと。				
本科目履修と関連する資格	資格名	無し			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション	学生は授業の目的、内容、成績を付ける方法などを理解する。	専攻科の学生はすでに芸術についての知識があるので、この授業ではその知識を英語で表現することを目的としています。
第2回	絵画紹介	有名な絵画について題名、画家、制作年など簡単な紹介ができるようになる。	第2-7回では学生は基礎的な英語で物事を説明します
第3回	画家紹介	画家について簡単な紹介ができるようになる。	美術館や図書館での知識集め。
第4回	時代背景	作品制作年の美術史について簡単に紹介することができるようになる。	美術館や図書館での知識集め。
第5回	彫刻紹介	有名な彫刻について題名、画家、制作年など簡単な紹介ができるようになります。	美術館や図書館での知識集め。
第6回	彫刻家紹介	彫刻家について簡単な紹介ができるようになる。	美術館や図書館での知識集め。
第7回	時代背景	作品制作年の美術史について簡単に紹介することができるようになる。	美術館や図書館での知識集め。
第8回	まとめ①	第1-7回の内容についてまとめを行います。	ここまでの内容の復習をしっかりと実施した上で参加してください。
第9回	ギャラリーと展覧会	展覧会やギャラリーの紹介ができるようになります。	第9-14回では学生は基礎的な英語で物事を説明します
第10回	芸術家の経歴	自分の興味ある芸術家の経歴が説明できるようになります。	美術館や図書館での知識集め。
第11回	作品のアイデア	自分の作品をつくる時のアイデアを説明できるようになります。	
第12回	作品の制作	自分が作品をどのように制作するのか説明できるようになります。	
第13回	評論	他人の作品について自分の意見が言えるようになります。	
第14回	まとめ②	第1-13回の内容についてまとめを行います。	ここまでの内容の復習をしっかりと実施した上で参加してください。
第15回	プレゼンテーション	自分が見に行った展覧会についてプレゼンテーションを行います。	プレゼンテーションの為に事前に自分の興味ある展覧会鑑賞をしておくこと。